

市政記者クラブ各位

令和 7 年 1 月 23 日

公益財団法人 九州先端科学技術研究所

九州大学-九州先端科学技術研究所(ISIT)-福岡市 連携
グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム
～地域の未来への展望～

九州先端科学技術研究所(ISIT)は、「九州大学エネルギーウィーク 2025」にて、九州大学および福岡市と連携し、グリーントランスフォーメーション(GX)に関するシンポジウムを開催いたします。

今回は世界的に注目されている水素エネルギーの商用利用の最新事情に関して、九州大学とトヨタ自動車による基調講演のほか、福岡市内企業の脱炭素ビジネスへの取り組みも紹介します。

つきましては、シンポジウムの告知と当日の取材につきましてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

■日 時 令和 7 年 1 月 29 日(水) 13:30～16:30 (受付開始 13:00～)

■場 所 会場:アクロス福岡 7 階 大会議室 (福岡市中央区天神 1-1-1)
(現地開催のみでオンラインでの実施はありません。)

■プログラム (詳細はチラシをご参照ください)

●基調講演①「エネルギーの地産地消を目指す水素活用の取り組み」

九州大学 工学研究院機械工学部門 准教授 立川 雄也 (たちかわ ゆうや)

●基調講演②「商用モビリティ分野のカーボンニュートラルの取り組み」

トヨタ自動車 CJP 企画部 グループマネージャー 石川 大悟 (いしかわ だigo)

【登壇予定企業】

株式会社 JCCL(CO₂回収技術開発) / 株式会社協栄エレクトロニクス(IT システム開発)

日本乾溜工業株式会社(道路舗装材開発) / 株式会社ユレタリング(木造コンテナハウス開発)

ローカルフードサイクリング株式会社(普及型コンポスト開発)

【ファシリテーター】

西原 正通 九州大学 水素エネルギー国際研究センター 教授

早瀬 百合子 九州大学大学院 芸術工学研究院 芸術工学専攻 環境設計部門 准教授

後藤 伸也 独立行政法人 国際協力機構 九州センター(JICA 九州) 企業連携課長

■共 催 九州先端科学技術研究所、九州大学、福岡市

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 事業調整部 担当: 溝上、森田

TEL: 092-852-3460 FAX: 092-852-3455 E-mail: isit-jigyochosei@isit.or.jp

※ 取材を希望される場合は、1月27日(月)までに上記へご連絡をお願いいたします。

グリーントランスフォーメーション(GX)シンポジウム ～ 地域の未来への展望 ～

水素エネルギーの商用利用への取組みと市内企業の脱炭素ビジネスをご紹介します

日時

2025年 **1** 月 **29** 日 (水) **13:30～16:30**
(受付開始: 13:00)

会場

アクロス福岡 7階 大会議室 定員100名 (申込先着)

参加費

無料

申込方法

下記URL、または二次元コードよりお申込みください
<https://q-pit-ew.kyushu-u.ac.jp/ja/program>

※「九州大学エネルギーウィーク2025」ホームページからの申込みとなります



参加登録

シンポジウム プログラム

- 13:30 開会挨拶 公益財団法人 九州先端科学技術研究所 所長 山田 淳
国立大学法人 九州大学 理事・副学長 園田 佳巨
- 13:40-14:20 基調講演① 「エネルギーの地産地消を目指す水素活用への取組み」
九州大学 工学研究院 機械工学部門 准教授 立川 雄也
- 14:20-15:00 基調講演② 「商用モビリティ分野のカーボンニュートラルへの取組み」
トヨタ自動車 CJP企画部 グループマネージャー 石川 大悟
- 15:05-16:25 「福岡市内企業の脱炭素ビジネスへの取組み紹介」
福岡グリーンイノベーションチャレンジ採択企業
【登壇予定企業】
株式会社JCCL / 株式会社協栄エレクトロニクス / 日本乾溜工業株式会社 /
株式会社ユレタリング / ローカルフードサイクリング株式会社
- 16:25 閉会挨拶 福岡市 経済観光文化局 新産業振興部長 堀 浩信

【お問い合わせ先】

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 事業調整部

TEL: 092-852-3460 E-mail: isit-jigyochosei@isit.or.jp

URL: <https://www.isit.or.jp/>

共催: 公益財団法人 九州先端科学技術研究所 国立大学法人 九州大学 福岡市



基調講演 ① 「エネルギーの地産地消を目指す水素活用 of 取組み」

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、エネルギーの地産地消が重要視される中で、水素エネルギー技術が注目されています。九州大学では、伊都キャンパスの水素ステーションでの再生可能エネルギー等を活用した水素の製造、水素燃料電池バスの実証事業を通じて、水素社会地域モデルの構築に取り組んでいます。ここでは研究開発と実証事業の現状を紹介します。

立川 雄也 九州大学 工学研究院 機械工学部門 准教授

【講師プロフィール】

九州大学工学府知能機械システム専攻博士課程修了。2010年九州大学水素エネルギー国際研究センター特任助教、次世代燃料電池産学連携研究センターを経て2023年より現職。水素利用技術・デバイスの研究開発に従事。カーボンニュートラルの実現に向けて、水素社会地域モデル構築のための実証事業、および水素エネルギーの利活用・普及啓発活動を牽引。



基調講演 ② 「商用モビリティ分野のカーボンニュートラルの取組み」

カーボンニュートラル実現に向けて、車両OEMとして、地域のエネルギー事情に合うように多様な選択肢を準備しなくてはなりません。今回は、水素の安定消費につながると考えられる商用FCEVに着目し、グリーンイノベーション基金を活用した実証の状況と、水素普及に向けた協定を結んでいる福岡市との「はたらくFCEV」の導入活動について紹介します。

石川 大悟 トヨタ自動車 CJP企画部 グループマネージャー

【講師プロフィール】

2007年トヨタ自動車入社。13年間実験エンジニアとして、車両の信頼性評価に従事。2022年より現部署に異動。福岡を中心に商用FCEVの普及に向けた活動を推進中。



福岡市内企業の脱炭素ビジネスへの取組み紹介

カーボンニュートラルに資する製品やサービスの開発に取り組む市内中小企業の支援を行う「福岡グリーンイノベーションチャレンジ事業（福岡市が令和4年度から実施）」の採択事業者の発表を通して、GXの取組みがもたらす地域の未来への展望を考えます。

【ファシリテーター】

- 西原 正通 九州大学 水素エネルギー国際研究センター 教授
- 早瀬 百合子 九州大学大学院 芸術工学研究院 芸術工学専攻 環境設計部門 准教授
- 後藤 伸也 独立行政法人 国際協力機構 九州センター(JICA九州) 企業連携課長

アクロス福岡 福岡市中央区天神1丁目1番1号

- 天神駅（地下鉄空港線）→徒歩5分（16番出口直結）
- 天神南駅（地下鉄七隈線）→徒歩7分（5番出口）
- 西鉄福岡天神駅（西鉄天神大牟田線）→徒歩10分
- アクロス福岡・水鏡天満宮前（西鉄バス）→徒歩0分

